



「校長室には、なぜ、校長先生の顔写真が飾ってあるの?」

先日、2年生の子どもたちが生活科の学習「学校たんけん」で校長室に来てくれました。校長室の中で子どもたちは多くの「はてな?」を見つけます。「なんで校区の地図が貼ってあるの?」「なんでパソコンがあるの?」「なぜ、賞状が飾ってあるの」などなど。お互いの疑問に「地図があるのは、〇〇だからだよ」「パソコンがあるのは◇◇だからじゃないかな」などつぶやいています。その姿を見ていると、子どもは、本当に知りたいことや学びたいことがたくさんあるのだなあとうれしくなります。

最後に担任の右田先生が「校長先生にお尋ねしたいことはありませんか」と尋ねられると、

校長室には、なぜ、校長先生の顔写真がいっぱい飾ってあるんですか?

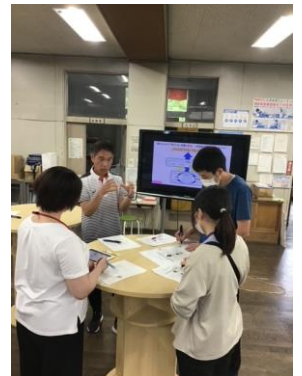
という質問をしてくれた児童がいました。私が「どうしてだと思う?」と問いかけると「思い出だから」というつぶやきが聞こえてきます。その言葉を聞いた男の子は「歴史」とつぶやきました。

その子の言う通り、校長室にはこれまでどのような教育が行われてきたか、児童がどんなことを頑張ってきたか、どんな先生方がいたのかなどが分かる楠小の歴史資料が大切に保管されてます。

「思い出」「歴史」という言葉で、校長室にある様々なものの見え方が変わってきます。歴代校長の顔写真を見ながら地域の方などと当時の話をお聞きすることも多くあり、私も改めて2年生のおかげで「なぜ、校長先生の顔写真が飾られているのか」を考えることができました。

楠小学校では、このような子どもたち自らが「疑問」を見つけ、友達と考えや疑問を交流し合うことなどを通して学びを深めていく授業づくりを目指しています。先生方も、放課後に子どもたちが夢中になるような授業づくりのためお互いの考えや疑問を交流し合っています！

【先生も学び合ってます⇒】



60勝1敗 ⇒ 20勝40?負け

先週、全校集会であいさつについて話をしました。

その中で、「60勝1敗」は誰の何の勝敗でしょうか。と子どもたちに問いかけました。

これは、私が勝手につけた「朝のあいさつ」の勝敗結果です。子どもたちより先に私があいさつしたら「勝ち」。私より先に子どもからあいさつされたら「負け」。あいさつにももちろん勝ち負けはありません。先に挨拶することよりも、心を込めてあいさつしたり、笑顔であいさつしたりするなど大切なことはありますが、相手を見かけたら進んであいさつをすることもとても大事なことです。唯一、私より先に挨拶をしてくれた児童は3年2組の女の子でした。

この話をした翌日には、多くの子どもたちが私を見かけたらすぐに、大きな声であいさつをしてくれました。途中で何人に負けたのかがわからなくなりました。中には「やった、校長先生に勝った!」とガッツポーズする児童もあり、こちらも笑顔になりました。

先日、楠中学校の平生校長先生から、「楠中の生徒は、入学してきた時からあいさつはすばらしい。」というお話を聞きました。楠中校区の「あいさつ」は、どの校区にも負けられない「受け継がれてきた宝物」だと感じています。

ぜひ、これからもこの宝を大切に引き継いでいきたいと思います。

